

SRL 研究概要発表 2026 年 8 月 10 日

AI 景気は一握り、半導体関連上場企業 25 年度業績

半導体産業の調査研究を行っている SRL は、半導体関連上場企業 126 社の 2025 年度業績を集計、分析した。

対象はシリコンウェハー、レジストなど「材料」、半導体製造検査装置、関連サービスなど「製造装置」、トランジスタ、メモリ、関連ソフトウェア、ライセンス、サービスなどの「半導体・関連ソフト」および半導体販売の「商社」の四分野である。

半導体関連株式公開企業126社の2025年度業績集計

金額単位=100万円、変化率=前年度比増減

分野	企業数	連結売上高		営業利益		経常利益		純利益	
		金額	変化率	金額	変化率	金額	変化率	金額	変化率
材料	25	7,373,070	4.6%	1,150,334	-5.8%	1,229,308	-5.6%	836,055	-1.1%
製造装置	45	7,850,108	6.8%	1,769,106	8.9%	1,799,098	9.3%	1,392,616	13.6%
半導体・関連ソフト	38	5,132,663	14.6%	1,148,110	59.3%	835,182	22.0%	391,171	-29.8%
商社	18	5,684,056	12.4%	185,996	11.6%	170,321	11.8%	133,800	15.9%
合計	126	26,039,897	8.8%	4,253,546	13.9%	4,033,909	6.6%	2,753,642	0.3%

出所=SRL

半導体・関連ソフト」と「商社」が二桁増収

25 年度(26 年 3 月期基準)の対象 126 社の売上は総計で 26.03 兆円、前年度から 8.8%増、1 年前の集計では 6.2%増だったことから当期の伸び率は増加した。分野別では、「半導体・関連ソフト」および「商社」で前年度比二桁の増収を達成した。キオクシアの好業績に伴い総計は大きく底上げされた。

利益率は低下、低調を示唆

一方、利益では「材料」と「半導体・関連ソフト」の二分野は最終利益では減益で、前者は SUMCO、後者はルネサスの大幅な最終赤字が影響している。「製造装置」のニコンは 126 社中最大の経常赤字だったが、この分野の総計では増益を確保している。

126 社の売上金額と順位				
順位	会社名	売上高(100万円)	増減%	最高更新☆
1	信越化学工業	2,573,969	0.5%	
2	東京エレクトロン	2,443,533	0.5%	☆
3	キオクシアホールディングス	2,337,628	37.0%	☆
4	レゾナック・ホールディングス	1,347,125	-3.0%	
5	ルネサスエレクトロニクス	1,321,212	-2.0%	
6	マクニカホールディングス	1,214,196	17.4%	☆
7	アドバンテスト	1,128,610	44.7%	☆
8	JX金属	884,638	23.7%	
9	ニコン	677,163	-5.3%	
10	加賀電子	658,941	20.3%	☆
~~				
	総計	26,039,897	8.8%	

利益率では、総計で経常利益それから最終利益いずれの段階も前年度から低下しており、業績好調な企業
 業の一方、減益あるいは

損失に陥る企業も多く、
 低調だったことを示唆し
 ている。

66 社が最高売上を更
 新

126 社の 25 年度での分野別利益率

変化率は前年度対比増減

	営業利益率	変化率	経常利益率	変化率	純利益率	変化率
材料	15.6%	-1.6%	16.7%	-1.6%	11.3%	-0.8%
製造装置	22.5%	0.4%	22.9%	0.6%	17.7%	1.1%
半導体・関連ソフト	22.4%	6.3%	16.3%	1.0%	7.6%	-4.8%
商社	3.3%	0.0%	3.0%	0.0%	2.4%	0.1%
合計	16.3%	0.8%	15.5%	-0.2%	10.6%	-0.9%

出所=SRL

25 年度の売上では全 126 社中、74%を超える 94 社が増収、うち全体の 52%に相当する 66 社が過去最高
 売上げを確保した。

分野別では、材料が全 25 社中 14 社、3 分 1 に相当する企業が最高記録を更新した。製造装置は全 45 社
 中 25 社が最高を更新した。半導体・ソフト製品は全 38 社 52%に当たる 20 社、商社は 18 社中 39%に相当す
 る 7 社がそれぞれ最高売上を更新した。

利益額ではトップが信越からキオクシアへ

経常利益のランキングでは対象 126 社中、
 これまで不動の位置を占めていたトップの座
 を信越化学工業に変わりキオクシアが確保し
 た。昨年は 3 位だったキオクシアは利益を
 2.11 倍伸ばして堂々トップに付いた。

利益ランキングで高い伸びは上位企業では
 4 位のアドバンテストの 129.9%増、16 位の
 FUJI の 104.1%増、34 位のトーメンデバイスの
 80.6%増などが目立つ。FUJI は電子部品実
 装機など半導体を含めたロボット事業を主力
 としており、利益率を高めている。

このところ話題を呼ぶ時価総額では 26 年 5 月の段階でキオクシア 33.0 兆円、信越化学工業の 14.7 兆円
 に対し東京エレクトロンは 24.5 兆円と 2 年前に逆転してから変わらない。

同様に 5 位に浮上したアドバンテストの時価総額は 19.8 兆円、6 位のディスコは 7.3 兆円、7 位の SCREEN
 ホールディングスは 2.1 兆円、9 位のレーザーテックは 3.9 兆円と高い評価を得ており、株式市場では中心的
 な存在となっている。ルネサスは 8.3 兆円。

126 社の経常利益額と順位				
順位	会社名	経常利益額 (100 万円)	増減 %	最高 更新
1	キオクシアホールディングス	784,095	111.5%	☆*
2	信越化学工業	708,281	-13.7%	
3	東京エレクトロン	630,338	-10.9%	
4	アドバンテスト	516,720	129.9%	☆
5	ディスコ	184,936	9.5%	☆
6	JX 金属	169,082	57.3%	☆
7	SCREEN ホールディングス	124,323	-10.1%	
8	レーザーテック	119,444	45.6%	☆
9	イビデン	60,822	27.0%	
10	東京応化工業	49,274	42.6%	☆
～				
	総計	4,033,909	6.6%	

38 社が最高利益を更新

25 年度の利益では全 126 社中、55%に当たる 69 社が増益、うち全体の 30%に相当する 38 社が過去最高利益を確保した。

分野別では、材料が全 25 社中 8 社、32%に相当する企業が最高記録を更新した。製造装置は全 45 社中 15 社が最高を更新した。

半導体・ソフト製品は全 38 社中 21%に当たる 8 社、商社は 18 社中 7 社がそれぞれ最高利益を更新した。

35 社が売上、利益ともに最高更新

当期で売上、利益ともに最高記録を更新したのは 35 社で、輝く成果を達成した。内訳は材料 7 社、製造装置 15 社、半導体製品・ソフトウェア 8 社、商社 5 社の構成、以下、表に示す。

「売上」、「利益」ともに最高更新企業

「材料」

RS Technologies
大阪有機化学工業
クラスターテクノロジー
住友ベークライト
東京応化工業
トリケミカル研究所
フジミインコーポレッド

「製造装置」

アドバンテスト
AIメカテック
A&Dホロン
クエスト
サムコ
芝浦メカトロニクス
ジャパンマテリアル
ディスコ
ティアンドエス
TMH
テクノアルファ
日本電子材料

日本マイクロニクス
ミナトホールディングス
レーザーテック

「半導体製品・ソフト」

ヴィッツ
エクスモーション
キオクシアホールディングス
クオルテック
CRI・ミドルウェア
テラプローブ
PKSHA Technology
フィックスターズ

「商社」

カナデン
たけびし
トーメンデバイス
ミタチ産業
レスター

利益率 大手が上位に食い込む

各分野における利益率(売上高に対する経常利益額比率)上位 5 社を SRL は毎年集計している。最近の傾向は、売上での大手企業が利益率でも上位に位置することが増えたことである。半導体分野は新技術の導

入など変化が速く、市場の変化を含めてそれに素早く対応できる中小企業や新興企業が高い利益率を確保する例が内外でみられてきた。

大手は、資金力はじめ資源は豊富で、中小には正面から対抗できないが、中小の強みは小回りが利き、特定分野に集中、変化に機敏に対応、シリコンバレーでは大手は中小を買収して、相乗効果によりさらに発展する形態が一般的になっている。

経常利益率での業種分野別 上位5社

2023年度－2025年度

2023年度			2024年度		2025年度	
社名		%	社名	%	社名	%
材 料	1 MARUWA	34.3%	MARUWA	37.6%	MARUWA	35.3%
	2 信越化学工業	32.6%	トリケミカル研究所	34.8%	トリケミカル研究所	29.7%
	3 トリケミカル研究所	29.1%	信越化学工業	32.0%	信越化学工業	27.5%
	4 RS Technologies	28.8%	RS Technologies	26.5%	テクセンドフォトマスク	25.8%
	5 テクノクオーツ	22.5%	フジミインコーポレーテッド	19.6%	RS Technologies	21.7%
製 造 装 置	1 レーザーテック	41.8%	ディスコ	43.0%	レーザーテック	47.5%
	2 ディスコ	39.8%	レーザーテック	38.4%	アドバンテスト	45.8%
	3 ローツェ	29.0%	東京エレクトロン	29.1%	ディスコ	42.3%
	4 東京エレクトロン	25.3%	アドバンテスト	28.8%	ジャパンマテリアル	26.1%
	5 テセック	24.8%	ローツェ	28.5%	東京エレクトロン	25.8%
半 導 体 製 品	1 テックポイント	30.7%	湖北工業	30.5%	キオクシアホールディングス	33.5%
	2 フィックスターズ	29.5%	フィックスターズ	28.8%	フィックスターズ	26.8%
	3 ルネサスエレクトロニクス	28.7%	キオクシアホールディングス	21.7%	湖北工業	26.1%
	4 浜松ホトニクス	26.8%	PKSHA Technology	19.8%	PKSHA Technology	21.5%
	5 湖北工業	23.4%	ルネサスエレクトロニクス	19.6%	テラプローブ	21.0%
商 社	1 高千穂交易	7.3%	高千穂交易	7.1%	高千穂交易	8.2%
	2 マクニカホールディングス	6.0%	東京エレクトロンデバイス	5.3%	東京エレクトロンデバイス	4.8%
	3 東京エレクトロンデバイス	5.7%	加賀電子	4.1%	加賀電子	4.5%
	4 立花エレテック	5.1%	伯東	4.0%	たけびし	4.1%
	5 加賀電子	4.8%	立花エレテック	3.9%	カナデン	4.0%

出所＝SRL

今年度売上 32%増、大幅増益の見込み

対象 126 社の計画では、今年度(27 年 3 月期)は売上で前期比 32%増の 34.4 兆円、経常利益で 153%増の 10.2 兆円がそれぞれ見込まれている。キオクシアは自ら年間見通しを公表しておらず、四季報によれば、売上で 3.3 倍の 7.8 兆円、経常利益で 7 倍の 5.5 兆円が想定され、本誌はその数字を使った。

(大竹 修)